



吉祥院病院リニューアル工事

8月着工

● 吉祥院病院院長・清洲早紀

中央病院西館竣工と上京診療所立ち上げに次ぐ市内病院構造転換事業の締めくくりとして、本年8月着工をめざして準備をしています。診療を継続しながらの病院改修で工期は13ヶ月となりますが、職員一丸となって成功させます。吉祥院病院は、在宅診療所であるあらぐさ診療所をこの秋に統

合し、44床の「機能強化型在宅療養支援病院」として生まれ変わります。南地域は診療所もあわせて約400名の往診患者さんの管理をしています。24時間体制でこの方々の緊急入院に対応します。京都市下京区、南区は急性期医療を積極的に展開する病院が多い地域であり、急性期治療が一段落した患者さんの在宅復帰を支援する役割も果たします。

また、今年の介護報酬改定で新設された複合型サービスを一階のフロアに開設予定です。これは小規模多機能型居宅介護に訪問看護を組み合わせたものです。医療と介護の連携がスムーズになり24時間体制で在宅患者さんとその家族をより高いレベルでバックアップすることが可能になります。

外来も全面改修して、当院の十八番である糖尿病外来や生活習慣病外来はチームとしてより高いレベルの医療サービスを提供することをめざします。

● 介護事業部長・阿部未知

今年度事業計画で、法人内ネットワークの強化と地域連携、要となる訪問看護の強化（大規模化、多機能化）をめざしています。

現在8訪問看護ステーション、5ヘルパーステーション、4デイサービス、10居宅支援事業所、2訪問リハビリテーション、1地域包括支援センターを開設しています。

中央・上京地域では2ヶ所の「総合ケアステーション」を拠点に居宅支援、訪問介護、訪問看護、通所介護が密に連携して、「家で療養したい」という願いに寄り添い、療養者さんだけでなく介護されるご家族のサポートも全力でさせていただきます。

吉祥院エリアでは「複合型サービス」（通所介護・訪問介護・宿泊・訪問看護の組合せ）に挑戦します。施設に近い完結型で、医療的ケアが必要な重度の要介護者を対象とする事業になります。北部には4診療所と共に地域で活動する4つの訪問看護ステーションがあります。

京都保健会介護事業再編スタート

「住み慣れた我が家で安心して暮らしたい」そんな願いに応えたい

す。

他の法人の訪問看護ステーションは閉鎖や撤退が相次いでいますが、私たちには訪問看護が制度化される以前から、病院に來られる患者さんだけでなく、自宅で療養を続けておられる方へ看護師が訪問活動を続けてきた実績があります。在宅療養のニーズがある限り、これからも地域に根を張って活動を続けていく決意です。

総合ケアステーション太秦安井

訪問看護ステーション太秦安井	旧STもみじ
ヘルパーステーション太秦安井	旧あかり、あかり西院事業所を統合
居宅支援太秦安井	旧居宅支援中央病院

上京南館に移設・統合

総合ケアステーションわかば	STつくしを統合
居宅支援わかば	旧居宅支援上京病院
デイサービスわかば	旧上京病院デイサービス

上記は定時社員総会で定款変更した再編事業所一覧